

# あくね 市議会だより

## 第1回臨時会・第2回定例会

第1回臨時会・第2回定例会総括……………2

一般質問……………5



**NO.190**

平成28年8月16日

編集 / 広報広聴委員会

発行 / 阿久根市議会

TEL 0996-72-0815

FAX 0996-72-2029

### 第32回 海の子カーニバル 全員完泳！

海の日にちなんだ海の子カーニバルが7月18日に行われました。  
阿久根大島海水浴場から五色ヶ浜海岸までの約3キロの距離を  
1時間30分で児童20名全員が完泳しました。



阿久根市議会

## 第2回定例会

- 一般会計予算に**1,510万円**追加し、  
**総額106億7,510万円**に
- 川内原発の運転停止を働きかける意見書の  
提出を求める陳情書を賛成少数で不採択

### 第1回臨時会

平成28年5月20日、平成28年第1回臨時会を開きました。

本臨時会では、「阿久根市国民健康保険条例の一部を改正する条例」、「平成27年度一般会計補正予算（第8号）」を含む6件の専決処分についての報告を承認しました。また、寺山住宅6号棟の建築工事請負（請負金2億7216万円）の契約を行うための議案が提案され、原案のとおり可決しました。

国民健康保険条例の一部改正は、地方税法等の改正に伴うもので、健康保険税の課税限度額を「52万円」から「54万円」に引き上げるなどの改正です。

一般会計補正予算は、国からの地方交付税や事業費の確定に伴う補正で、約6億800万円を増額して、財政調整基金、市民交流施設整備基金などの基金に積み立てる支出が主なものです。



建築工事が進む  
寺山住宅6号棟

### 第2回定例会

平成28年第2回阿久根市議会定例会を平成28年6月10日から27日の日程で開きました。

開会日には、議長より、全国市議会議長会において濱之上大誠議員が在職25年以上の表彰を受けたことの報告がありました。

本定例会では、平成27年度事業の内、約3億2300万円の事業を平成28年度に繰り越すための「繰越明許費繰越計算書」の報告があり、また、旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会委員長が調査結果の報告を行いました。（3ページに要旨）

議案においては、黒之浜港の整備のため埋め立てにより生じた新たな土地の字の区域変更、子ども発達支援センターの整備に伴う条例の一部改正、老朽化した市営住宅を解体するための市営住宅条例の一部改正などの条例改正議案5件が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

補正予算では、平成28年度一般会計補正予算が予算委員会で審議され、国民健康保険特別会計補正予算とともに原案のとおり可決しました。

人事案件では、欠員中の公平委員会委員の選任を賛成多数で同意しました。



黒之浜港に新たに生じた土地（斜線部分）

このほか、川内原子力発電所の運転停止を働きかける意見書の提出を求める陳情書を賛成少数で不採択とし、教職員定数改善などを図るための陳情を趣旨採択しました。

また、陳情3件、意見書1件を継続審査としました。

#### 補正予算の主な内容

- ・通知カード・個人番号カード関連事務交付金…329万4千円
- ・特産品案内看板2基の修繕修繕料…335万6千円
- ・防災マップ作成費（増額分）委託料…136万9千円
- ・園芸産地再生産支援事業（積雪被害対策の支援）事業費補助…280万2千円

#### 【人事案件】

公平委員会委員の選任  
栗野 美喜 氏（同意）

# 委員会報告

## ○予算委員会

議案第34号 平成28年度阿久根市一般会計補正予算（第1号）

**問** 防災計画の時期がずれこんでいる状態で、今回、新たに予算を組んであり、防災計画に対しては遅れがちのように見えるが、確実にできる状況にあるか。

**答** 平成27年4月に、新たに行政係から危機管理係という係を独立し、防災業務に特化した形で業務を行っており、体制としては、手当てをしながら今後の防災等について対応を図っていく。（所管課 総務課）

**問** 商工振興費の需用費の修繕料は、特産品の案内看板ということで理解していいか。

**答** これまでは特産品の宣伝看板ということであったが、特産品に限定するのではなく、阿久根市の魅力を発信するということで、どういう使い方がよいか協議をしている。

（所管課 商工観光課）

## ○産業厚生委員会

所管事務調査について、中間報告を行いました。調査項目は、①地元

企業の育成と商店街の活性化について②海を活用した観光行政と宿泊施設の整備について③道路・河川等の危険個所の整備について④集落営農を活用した農業振興についての4項目ですが、今回は②を除き中間報告を行いました。

また、調査項目に「南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する調査」を追加しました。

なお、6月27日に付託となった「陳情第9号 脇本海岸海の家の営業時間と営業内容の見直しに関する陳情」については、閉会中の継続審査として現在審査中です。



県道脇本赤瀬川線の狭い道路

## ○総務文教委員会

陳情第7号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2017年度政府予算にかかる意見書採択の要請について

審査の結果、賛成多数で趣旨採択と決しました。

陳情第8号 川内原子力発電所の運転停止を働きかける意見書の提出を求める陳情書

審査の結果、賛成少数で不採択と決しました。

なお、陳情第3号、陳情第4号、意見書第1号については引き続き継続審査となりました。

○旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会

（提案）

2020年実施される国体の宿泊所及びスポーツ合宿の拠点に

平成19年3月末に閉校し10年になる旧阿久根高校跡地の活用について、市が公用・公共に使う場合は所有者の県は無償で譲渡することであり、これまでいろいろと提案・検討がなされてきました。しかし、具体的な解決策は示されず、これ以上放置していると「宝の持ち腐れ」で朽ち果ててしまうとの思いもあり、議会では地方創生の一環として昨年の6月議会で「旧阿久根高校跡地活用検討に関する調査特別委員会」を設置し、担当課の企画調整課からの現状把握や現地調査、市内外から4人の方に参考人として出席していただき意見や提案をお聞きし、9回にわ

たり委員会を開催しました。

5月20日、これまで委員会へ出された意見や提案を参考に委員の意見を集約しました。主な意見として①高台で津波・雨の心配もない上、海も見え景観も良い。校舎は耐震構造で地震・台風になかなかならぬ。

②旧国民宿舎が休館となり、2020年の国体のボクシング会場として宿泊施設の確保が心配な中、喫緊の課題は選手及び関係者の宿泊施設の確保である。

③グラウンドはサッカー専用グラウンドとして使用する。

その他の意見として、将来的には介護職員の養成施設、低価格・中価格の宿泊施設、障害者施設、限界集落や都会の老人に安心安全な老人専用の市営住宅としての提供などの提案がありました。

阿久根市の創生のため、これらの提案をもとに市長の賢明な判断とリーダーシップを発揮され、一日も早い実行を期待したいと思います。



特別委員長  
山田 勝 議員

## 討 論

各議案に対する討論のあった議案・陳情の主な内容は以下の通りです。

### 平成28年第1回臨時会

報告第3号 専決処分の承認について（平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第8号））

#### 反対討論

単純な質問に対して市長も認識していない。どれほど見込みを置いて、確定されたのが幾らかというのは一番最初の基本である。ずさんな状況が見て取れる。

### 平成28年第2回定例会

議案第34号 平成28年度阿久根市一般会計補正予算（第1号）

#### 反対討論

予算案を出すときは実際には細かい説明がされない。だけれども予算を受け取ってしまったときに執行部のほうが自動的にお金を動かしてしまう。市長の命令にそのまま従うとするのではなく、議会がもつとしつかりと執行の部分に関わらないといけない。

陳情第8号 川内原子力発電所の運転停止を働きかける意見書の提出を求める陳情書

#### 賛成討論

原発の廃炉の問題、汚染水の問題、放射性廃棄物の問題、どれをとってもこれ以上日本で原発を稼働することが許されないことは明白である。全ての原発の稼働を止め、退路を断つて背水の陣で新エネルギーの開発に力を注ぐべきと考える。

#### 賛成討論

これまでになかったことは、原子力規制委員会の規制基準はIAEA国際原子力機関から安全基準を満たしていないと勧告を受けていること。火山予知連絡会は火山の予知はできないと断言し、規制の基準を否定していること。福島原発の事故で稼働中の原子炉が致命的な放射能汚染を与え、停止中の原子炉は汚染を起こしていないという事実である。



川内原子力発電所視察の状況（4月）

## 平成28年第1回臨時会 議案及び審議結果

| 番 号    | 内 容                                        | 結 果      |
|--------|--------------------------------------------|----------|
| 報告第1号  | 専決処分の承認について（阿久根市税条例等の一部を改正する条例）            | 承認(全 員)  |
| 報告第2号  | 専決処分の承認について（阿久根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）       | 承認(全 員)  |
| 報告第3号  | 専決処分の承認について（平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第8号））       | 承認(賛成多数) |
| 報告第4号  | 専決処分の承認について（平成27年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）） | 承認(全 員)  |
| 報告第5号  | 専決処分の承認について（平成27年度阿久根市簡易水道特別会計補正予算（第3号））   | 承認(全 員)  |
| 報告第6号  | 専決処分の承認について（平成27年度阿久根市交通災害共済特別会計補正予算（第2号）） | 承認(全 員)  |
| 議案第27号 | 寺山住宅6号棟建築工事請負契約の締結について                     | 可決(全 員)  |

## 議決結果（賛否が分かれた案件のみ）

| 議 案 名                                | 議員名（議席番号順） |       |       |       |       |        |       |      |       |       |       |      |        |      |       |       | 議決結果 | 討 論            |
|--------------------------------------|------------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|------|-------|-------|-------|------|--------|------|-------|-------|------|----------------|
|                                      | 白石 純一      | 渡辺 久治 | 濱田 洋一 | 西田 数市 | 竹原 信一 | 飯屋園 一徳 | 竹原 恵美 | 野畑 直 | 中面 幸人 | 大田 重男 | 濱崎 國治 | 牟田 学 | 濱之上 大成 | 山田 勝 | 岩崎 健二 | 木下 孝行 |      |                |
| 専決処分の承認について（平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第8号）） | ◇          | ◇     | ◇     | ◇     | ◆     | ◇      | ◇     | ◇    | ◇     | ◇     | ◇     | ◇    | ◇      | ◇    | ◇     | —     | 承認   | 反対： 1<br>賛成： — |

※木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。  
（表の見方）◇は賛成、◆は反対

## 平成28年第2回定例会 議案及び審議結果

| 番 号    | 内 容                                                        | 結 果       |
|--------|------------------------------------------------------------|-----------|
| 議案第28号 | 公平委員会の委員の選任について                                            | 同 意(賛成多数) |
| 議案第29号 | 新たに生じた土地の確認について                                            | 可 決(全 員)  |
| 議案第30号 | 字の区域変更について                                                 | 可 決(全 員)  |
| 議案第31号 | 阿久根市子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について              | 可 決(全 員)  |
| 議案第32号 | 阿久根市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について                                 | 可 決(全 員)  |
| 議案第33号 | 阿久根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について                         | 可 決(全 員)  |
| 議案第34号 | 平成28年度阿久根市一般会計補正予算(第1号)                                    | 可 決(賛成多数) |
| 議案第35号 | 平成28年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)                              | 可 決(全 員)  |
| 陳情第7号  | 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について | 趣旨採択(全 員) |
| 陳情第8号  | 川内原子力発電所の運転停止を働きかける意見書の提出を求める陳情書                           | 不採択(賛成少数) |
| 陳情第9号  | 脇海岸海の家の営業時間と営業内容の見直しに関する陳情                                 | 継 続 審 査   |

### 議決結果 (賛否が分かれた案件のみ)

| 議 案 名                                | 議員名（議席番号順） |          |          |          |          |           |          |         |          |          |          |         |           |         |          |          | 議 決 結 果 | 討 論          |
|--------------------------------------|------------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|---------|----------|----------|----------|---------|-----------|---------|----------|----------|---------|--------------|
|                                      | 白石<br>純一   | 渡辺<br>久治 | 濱田<br>洋一 | 西田<br>数市 | 竹原<br>信一 | 飯屋園<br>一徳 | 竹原<br>恵美 | 野畑<br>直 | 中面<br>幸人 | 大田<br>重男 | 濱崎<br>國治 | 牟田<br>学 | 濱之上<br>大成 | 山田<br>勝 | 岩崎<br>健二 | 木下<br>孝行 |         |              |
| 平成28年度阿久根市一般会計補正予算<br>（第1号）          | ◇          | ◇        | ◇        | ◇        | ◆        | ◇         | ◇        | ◇       | ◇        | ◇        | ◇        | ◇       | ◇         | ◇       | ◇        | —        | 可 決     | 反対：1<br>賛成：— |
| 川内原子力発電所の運転停止を働きか<br>ける意見書の提出を求める陳情書 | ◆          | ◇        | ◆        | ◆        | ◇        | ◆         | ◇        | ◆       | ◆        | ◆        | ◆        | ◆       | ◆         | ◆       | ◆        | —        | 不採択     | 反対：—<br>賛成：2 |

※木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。  
議案第28号は無記名投票による表決のため、議員ごとの賛否は不明です。(表の見方) ◇は賛成、◆は反対

より良い市政を目指して

# 一 般 質 問

— 市政を問う —

平成28年第2回定例会では、8名の議員が一般質問を行いました。

【質問者】

(質問順)

- ① 西田 数市 議員
- ② 渡辺 久治 議員
- ③ 大田 重男 議員
- ④ 山田 勝 議員
- ⑤ 竹原 信一 議員
- ⑥ 中面 幸人 議員
- ⑦ 竹原 恵美 議員
- ⑧ 白石 純一 議員

掲載内容については、それぞれの議員が行いました一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者が責任をもってまとめたものです。  
なお、竹原信一議員の一般質問の内容は、一方的に自分の意見を述べたものであったため、議長より注意を行いました。

## 問 不登校問題と 自立支援教室の設置について

答 人的ソフト・財政の裏づけ等を  
考えながら検討する

**西田** 今年度、不登校となっている児童生徒数とその対応について、現状はどうなっているか。

**教育長** 5月末時点で、小学生1名、中学生13名が不登校である。対応としては、カウンセラー等の教育相談、学区外通学の許可、担任等の家庭訪問等を行っている。

**西田** 不登校の原因はどこにあると考えるか。

**教育長** 心因性の疾患、無気力や夜更かし、集団生活になじめない、家庭の理解や協力不足等さまざまなものである。



出水市の自立支援教室

**西田** 子供たちを家の中だけで過ごさせるのは良くない。行政が居場所を確保することが必要であり、生きがい対策課と学校教育課が連携して

自立支援教室の設置は出来ないか。

**市長** 子供や若者が悩みを相談したり、話し合ったりする居場所づくりについて、今後、具体的な検討が必要ではないかと考えている。

**西田** 設置の場合、中学校の空き教室など利用出来ないか。

**学校教育課長** いろいろな意味で、

他の生徒への影響が大きく、対応に苦慮すると予想されるので難しい。

**西田** 今の放課後児童クラブの一つを、例えば午後2時まで、または午前中だけでも、自立支援教室として使えないか。

**市長** 午前中の利用は可能と考える。ただ、自立支援教室の設置については、そこに携わる指導者の選定が大切である。そのような人的ソフト面の配慮・財政の裏付け等の課題の整理を図りながら検討したい。



西田 数市 議員

## 問 『寺島宗則』等による 地域興し活動に支援を

答 できる限りの支援は惜しまない



維新の英傑  
郷土の誇り  
伯爵 寺島宗則

**渡辺** 地元集落周辺において、『寺島宗則』等による地域興しを、との機運が盛り上がりつつある。何らかの意見集約の場としてまとめられと期待する。微力ながら自らも積極的に参加して、地域一丸となつて、具体的な構想を提案したい。情報・その他、市当局の支援をお願いしたい。

**市長** そのような状況は、大変ありがたいものであり、できる限りの支援は惜しまない。できることなら、地域の皆さんの方から「こういったことをやりたい」と具体的な話があれば、市としてもそれに合わせて、どういうことができるかを考える。

## 原発と交付金のあり方について

**渡辺** 「自治体は原発関連の多額の交付金をもらっている以上、原発の稼働に反対すべきではない」という人がいる。福島の実状を思えば、一

たん事故があれば、我々は取り返しのつかない被害をこうむる。その危険手当を受け取るのは当然である。いつも住民が危険にさらされているのを忘れてはならない。そういう意味で、交付金等の受け入れに関らず、率直な態度を国や電力会社を示すべきと考えるがどうか。



**市長** 今後、原発のあり方は議論が進んでいくものと思うが、やはり自然エネルギーの割合を増やしていくことが大事であると思う。



渡辺 久治 議員

## 問 市奨学金制度の運用について

### 答 一時金貸付制度を新設する

**大田** 阿久根市奨学金制度を利用し、修学されている方の過去5年間の推移を伺う。

**教育総務課長** 5年間で15名が利用し、14名が大学、1名が専門学校である。他に日本学生支援機構の貸与型奨学金を利用している方もいる。

**大田** 人への投資としての観点から、卒業したのち阿久根市に居住し、かつ就職された方への奨学金返済の支援策を取り組む考えはないか。



日本学生支援機構のリーフレット

**市長** 入学時一時金貸付制度を新たに創設し、卒業後に市内に定住して一定の条件を満たせば返済を免除する考えがある。基金条例を変える必要があり、今年中に議会に改正案を提出し、承認をされたら来年度の入学から実施したいと考えている。

### 人口減対策について

**大田** 平成24年度から取り組んだ移住定住促進補助金制度の、4年間の成果・実績を伺いたい。

**企画調整課長** 4年間の移住定住促進事業の成果・実績は、47件であり、人口増としては、105名で、うち18歳未満は24名である。経済効果としては、6億2千万円であり、うち市内事業者発注分としては3億5千万円である。

**大田** 福祉系の人材確保のため、中学生以下の子供を持ち、介護等の資格を持つひとり親世帯の移住支援対策に取り組む考えはないか。

**市長** 本市においても260名のひとり親世帯があり平等性を求められることから、今現在進めている移住定住促進等を活用し、人口増や経済効果を推し進めていきたい。



大田 重男 議員

## 問 番所丘公園の経済効果は

### 答 かなりの経済効果がある

**山田** 番所丘公園は指定管理者に委託しているが近年の設備投資額は、

**都市建設課長** 平成24年からの4年間で1億9千万円である。

**山田** ゴールデンウィーク期間中、公園内の売店が大変賑わっていたが、市外の業者がほとんどで市内の特産物売る業者は一部で、活性化、地方創生には繋がらない。指定管理者に丸投げしているのではないか。

**市長** 決して丸投げしているわけではない。相手方ともしっかりと協議をしながら、また常時報告を受けながら進めている。ただ、いろんな方々まで話がいつてなかったことは申し訳ないと思っており、しっかりと反省していきたい。

**山田** 産業祭を初め、色々な事業を実施するが、実施するだけで満足し、将来に繋がらない。総合的な計画実施に取り組まないと予算を使っただ



山田 勝 議員

け成果が上がらない。取りまとめる立場にある副市長の考えは。

**副市長** 今後、課長会等含め、市長を補佐しながらしっかりと一体的な体制ができるよう頑張っていきたい。

**折多小学校と屋内体育館との間にある市道の安全対策について**

**山田** 折多小の体育館と校舎の間にある市道の安全対策が問題になって久しい。3月議会以降の取り組みは。

**教育長** 今後の対応について学校側とも検討した。

**山田** 折多小学校の設置者は阿久根市、校舎と体育館の間を市道が通る。看板を立てるなり安全対策は市及び教育委員会の責任。PTAをあてにせず一日も早く実施してほしい。

**教育長** 看板の設置については確約はできないが、学校長とも話をしながら進めていきたい。



折多小校舎と体育館の間の市道

※市長の答弁を求めている質問であり、議員の発言のみの掲載になります。

## 問 社会の設計図を知っているか

### 【職員は公務員ではない】

「国民は正当に選挙された国会における代表者を通じて行動する。権威は国民に由来し、権力は国民の代表者が行使する」（憲法）となっている。一五条には「公務員を選定し、罷免することは国民固有の権利、公務員の選挙は成年者による普通選挙を保証する」とされている。公務員とは政治家である。職員を公務員にする公務員法は憲法違反だ。

### 【公務員法のトリック】

国家公務員法はタイトルに憲法一五条の「公務員」を使いながら一条に、「役人に関する事務を掌理する」と書かれている。二条では「政治家を特別職公務員」にしながら「この法律は特別職には適用しない」とした。これらのトリックで職員を公務員へとすり替えてしまった。

### 【職員利益がすべての基準】

国家公務員法に「職員の福祉と利益の保護確立を根本基準とする。国民に対して集团的・能率的にこれを守る」としてある。職員が国民から職員仲間を守る。

### 【裁判が役人に握られている】

ハーバード大学教授が、日本では『政府に不利な判決を出した裁判官

は昇進しない』という事を証明した。裁判官出身の明治大学教授も「絶望の裁判所」（著書）で証言した。この国は裁判が役人に握られている。



### 【報道はおカネを優先する】

議員研修の講演で大学の名誉教授が語った。「子供にアトピー性皮膚炎の被害が出て報道機関はスポンサーに配慮して原因報道をしない。」

### 【知らなければ議論にならない】

ゆがんだ公務員法が原因でゆがんだ国になっている。その事を誰も気づいていない。市民は「議会でもんでくれ」と言いながら「もめたくないやだ」と言う。本当にわかっていない。良く考えましよう。市長、質問があるか。



竹原 信一 議員

## 問

1.5円から2.5円に上げられないか

答 周辺自治体を参考にしながら考えていく



中面 幸人 議員

【中面】 パルプ用竹材補助金の受領を年数回に分けられないか。

【市長】 平成28年度からは複数回に分けて報告していただき、その実績に基づきその都度支払うようにする。

【中面】 作業道急坂局部舗装事業で現行の受益者負担3割を期間を定めて軽減できないか。

【市長】 この事業の補助率増加は厳しい。

【中面】 現役の世代が「元氣なうちに」「やる気のあるうちに」施策を拡充・加速して竹林整備を行い、後継者そして担い手育成に繋げてほしい。

### 集落の整備について

【中面】 市道の草払いについて、今後の方角性を伺いたい。

【市長】 市の作業班による直営や建設業者への伐開委託で対応していく。

【中面】 地区の環境美化については、自分たちで守っていくという考えか



地域住民による河川の伐開の様子

ら、年2回以上の市道伐開等を行っているが、年々高齢化と人口減少で集落の奉仕作業が難しくなっている。作業員の稼働できる日程の調整ができ、また効果が上がる時期に柔軟に対応するため、年間を通して集落に委託か補助金制度の事業を検討できないか。

【市長】 今後方策等を検討し対応していくが、地域の活動・環境美化の観点から地域づくり活動支援事業の活用も考えてみてはどうか。

【中面】 地区要望への迅速対応、経費及び効率面を試算し、早期に検討をお願いしたい。

### その他の質問

・県管理河川の堤防伐開について

市は指定避難所を  
何人分用意してい

約8800人分である

竹原  
一時避難先

## 川内原子力発電所について



規制基準は世界最高ではない。

市長

竹原

し 27 シ  
て % ケ

市長

竹盾

市具



竹原 恵美 議員

避難所耐震、要援護者避難など災害危機管理は

耐震未確認5力所、要援護者原発避難は県調整



白石 純一 議員

白石

市長

白石

市長

白石

生き

白石



熊本宇土市役所は  
崩壊寸前に

白石

市長

白石

市

が  
ら、

万四

 $h_i$ 

健康

白石

煙准

## その他の質問

- ・災害、害獣駆除にもドローンを。
- ・プールの夜間開放はできないか。
- ・海からの来客に「海の駅」支援を。
- ・選挙共通投票所として駅活用を。

